

舞臺
マヤン
MAYAN

Argentine TANGO

華麗なるダンス 哀愁の歌声
アルゼンチンタンゴ 2019

～進化を続ける情熱たち～

哀愁たどる愛の唄
切なくも華やかなダンス
パワフルでダイナミックな演奏...
タンゴの伝統を受け継ぐ新しい感性が踊り・歌・演奏
3拍子揃った魅力満載のステージをお届けします

ヴァイオリン
柴田 奈穂

NAHO SHIBATA

タンゴ
エンリケ & カロリーナ

ENRIQUE & CAROLINA



ギター
江森 孝之

TAKAYUKI EMORI



ダブルベース
西村 直樹

NAOKI NISHIMURA



アコーディオン
田ノ岡 三郎

SABURO TANOOKA

演奏：LAST TANGO

予定演目

- ラ・クンパルシータ
- リベルタンゴ
- エル・チョコロ
- ガジョ・シエゴ
- 迷子の小鳥たち 他

9月23日(月・祝)

開演 15:00 / 開場 14:30
(休憩20分 終演予定16:40)

[チケット発売予定] 会員先行：2019年5月23日(木) / 一般：2019年5月30日(木)

神戸文化ホール (中ホール)

神戸市営地下鉄「大倉山」駅下車すぐ、阪神・阪急・山陽電車「高選神戸」駅より北へ徒歩8分、JR「神戸」駅より北へ徒歩10分

※ペア券は1階席のみの取扱いとなります(予定枚数に達次第販売終了となります)
※ペア券は神戸文化ホールプレイガイド窓口又は、神戸文化ホールプレイガイドオンラインでのみの販売です。
※未就学児童の入場はご遠慮ください

入場料金

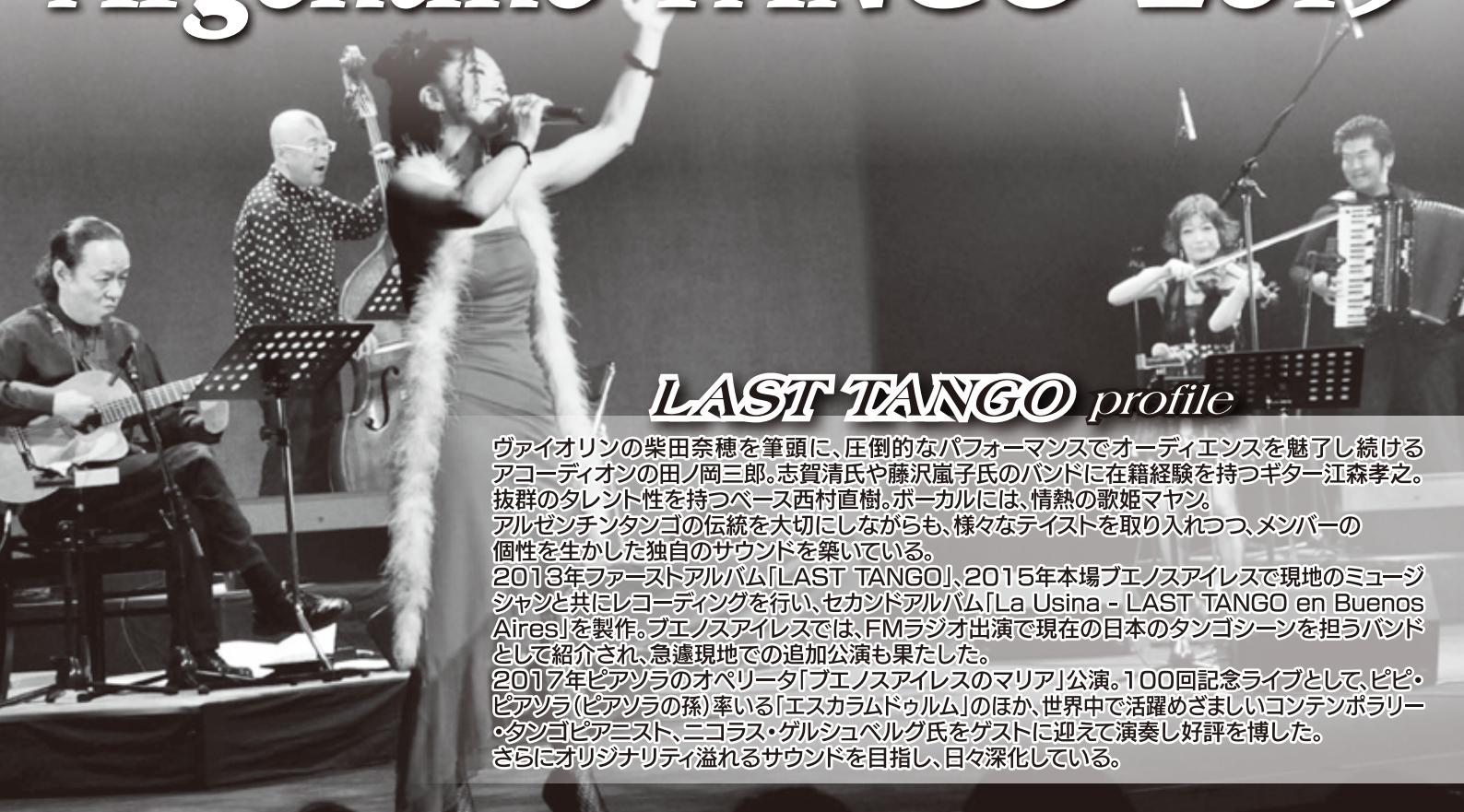
1階席 4,000円
2階席 3,500円
ペア券 7,500円
(全席指定・税込)

チケット
発売所

神戸文化ホールPG 078-351-3349
チケットぴあ 0570-02-9999
(Pコード:492-910)
ローソンチケット 0570-084-005
(Lコード:55253)
イープラス <http://eplus.jp>

[主催] 公益財団法人 神戸市民文化振興財団 神戸文化ホール
[お問合せ先] 神戸文化ホールプレイガイド TEL 078-351-3349

Argentine TANGO 2019



LAST TANGO profile

ヴァイオリンの柴田奈穂を筆頭に、圧倒的なパフォーマンスでオーディエンスを魅了し続けるアコーディオンの田ノ岡三郎。志賀清氏や藤沢嵐子氏のバンドに在籍経験を持つギター江森孝之。抜群のタレント性を持つベース西村直樹。ボーカルには、情熱の歌姫マヤン。アルゼンチンタンゴの伝統を大切にしながらも、様々なテイストを取り入れつつ、メンバーの個性を生かした独自のサウンドを築いている。

2013年ファーストアルバム「LAST TANGO」、2015年本場ブエノスアイレスで現地のミュージシャンと共にレコーディングを行い、セカンドアルバム「La Usina - LAST TANGO en Buenos Aires」を製作。ブエノスアイレスでは、FMラジオ出演で現在の日本のタンゴシーンを担うバンドとして紹介され、急遽現地での追加公演も果たした。

2017年ピアソラのオペリータ「ブエノスアイレスのマリア」公演。100回記念ライブとして、ピピ・ピアソラ（ピアソラの孫）率いる「エスカラムドゥルム」のほか、世界中で活躍がましいコンテンポラリー・タンゴピアニスト、ニコラス・ゲルシュベルグ氏をゲストに迎えて演奏し好評を博した。さらにオリジナリティ溢れるサウンドを目指し、日々深化している。

ダンサー エンリケ & カロリーナ



本場ブエノスアイレス出身のふたりは、2009年春より「ダイハツ タント」のテレビCMで共演をし、活動を開始する。その後、全国ツアーのコンサート、ファッションショーやテレビ番組等で活躍。また、ボランティア活動として「タンゴセラピー」を広める等、タンゴを身近にする活動も積極的に行っている。2010年よりナショナルチームのフィギアスケート強化合宿講師として参加。2014年5月ノルウェーで Piazzolla の作品「マリアデブエノスアイレス」のツアーに出演。彼らのエレガントな踊りは常に好評を得ている。

ボーカル マヤン



彼女はTangoの他、Jazz、Bossa Nova、Pops、Rock など、音楽のジャンルを超えて情熱的に歌い上げる才能の持ち主で、ヴァイオリンの柴田奈穂らメンバーと出会い、Tangoの魅力にはまり自己の新しい一面を発掘中。2016年福岡ヤフオクドームにて行われた「鷹の祭典」ソフトバンクホークス対オリックス戦 開会式にて3万8千人の聴衆の前で国歌を独唱。彼女のミステリアスな歌声は、多くの聴衆を魅了させる事でしょう。

ヴァイオリン 柴田奈穂 (バンドリーダー)



クラシックを仙崎明子氏、タンゴをフェルナンド・スアレス・パス氏、ポップスを中西俊博氏に師事。ピアソラの音楽に衝撃を受けアルゼンチンタンゴに傾倒する。2006年単身アルゼンチンに渡りバンドネオンのワルテル・リオス氏らとファーストソロアルバム「ブエノスアイレスの冬」レコーディング。また、2015年公開映画荒井晴彦監督「この国の空」で演奏、アレンジを担当。これまで多数のミュージシャンと共演。レコーディング、海外公演、などでも精力的に活躍中。

ギター 江森孝之



高校在学中よりギターを潮先郁男氏に師事する。卒業後、サクソ奏者、尾田悟氏のグループでプロとしての演奏活動を始める。その後パーカー音楽大学に留学。フリーのギタリスト、コンポーザー、アレンジャーとして活躍中。様々なアーティストのサポート、レコーディング、ミュージカルなど、幅広いフィールドで演奏活動をしている。また、フュージョン系のバンド、「バナシエ」のリーダーとしてライブ活動を行い、3枚のCDをリリースしている。

ベース 西村直樹



1996年上々颱風に参加し、ライブを展開。その後ドイツ、インド、韓国への国際交流公演に参加。スタジオジブリ作品「平成狸合戦ぽんぽこ」の映画音楽にレコーディング参加。アラブ音楽、ジャズ、タンゴなど様々なジャンルに挑戦し続ける。柴田奈穂とのデュオユニット「NaoNaho」や、パーカッション見谷聡一との「bajobombo」、無国籍トラベルミュージックの「旅猫油団」、白崎映美の「東北6県ロールショー」など様々なシーンで活躍中。

アコーディオン 田ノ岡三郎



音大卒業後に独学でアコーディオンを弾き始め、後にパリにてダニエル・コラン氏に師事。様々なジャンルのアーティストのRecording(CM音楽、映画やドラマのサウンドトラック等も多数)及びライブ、イベント出演などで活躍し、舞台やTVへの出演も多数。歌うように奏であげる音色には定評がある。これまでに4作のソロアルバムを発表し、好評を博す。近年は大竹しのぶ「SHINOBU avec PIAF」ツアーなどで素晴らしい演奏を披露している。